

県庁舎跡地活用の検討状況

目指す整備の方向性

様々な歴史を有し、長崎のまちの中心に位置する県庁舎跡地において、この地の歴史を活かしながら、新たな交流・賑わいの場の創出を目指す。

整備イメージ

- 歴史を活かす
 - ・現存する石垣など本物を保存・活用することを基本
 - ・先端技術等を効果的に活用し、この地の歴史を発信
 - 賑わいの場を創出する
 - ・日常的な憩いや多彩なイベントで賑わいを創出する**広場機能**を整備
 - ・本県の歴史・観光・食などの魅力を伝える**情報発信機能**や**飲食機能**を整備
 - 多様な交流につなげる
 - ・国際・文化芸術・産業など多様な分野の交流を促し産業創出や人材育成など、新たな価値を創造・発信する**交流支援機能**を整備
- ↓
- 多目的に利用できるイベントやプレゼンテーションのためのスペース、オープンイノベーション関連機能、大学や企業等の共同研究スペースなど
- 先行的な賑わいづくり
 - ・石垣下の空間など、活用可能な箇所から**先行的な賑わいづくり**に取り組む

【整備する機能の配置イメージ】

